

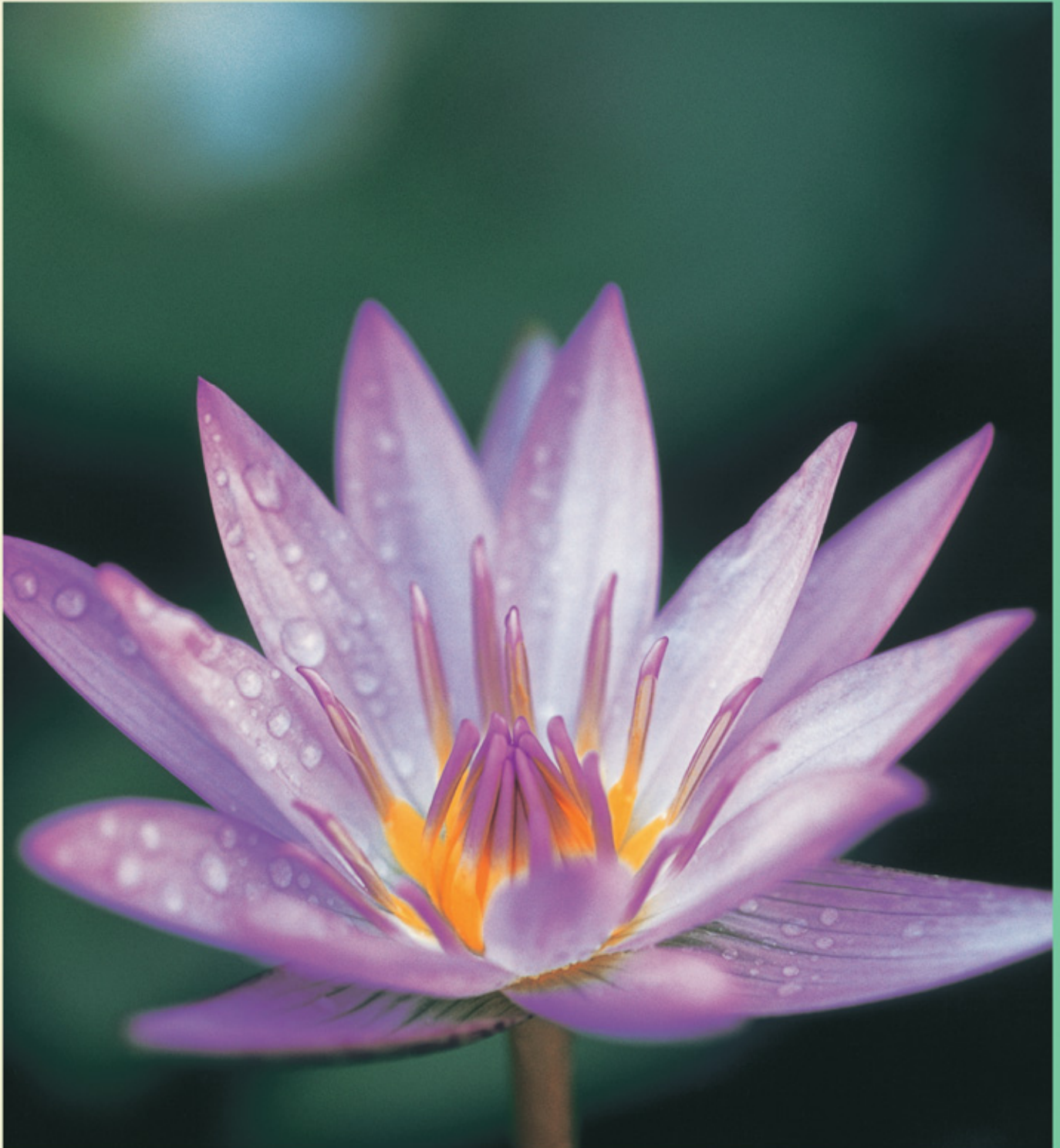


ドリアス

富山県

No.44 2007年7月

# 中央植物園だより



熱帯スイレン *Nymphaea* cv.

スイレンは園芸上、熱帯スイレンと温帯スイレンに分けて扱われている。一般に温帯スイレンの花は水面上に咲き、熱帯スイレンの花は水面から突出して咲く。熱帯スイレンは花色が豊富なおよび夜咲きのものもあり、夜咲き品種は中央植物園の夜間開園で鑑賞することができる。

「花一輪」 撮影／仙道英男さん（第9回私の植物写真展応募作品）

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

## 7月～9月のサンライトホール展示

### 「キョチクの七夕飾り」

7月6日(金)～7月11日(水)



七夕は旧暦7月7日のことで、明治の改暦以降は7月7日または月遅れの8月7日に各地で祭りなどが行われています。働き者であった織姫（こと座のベガ）と彦星（わし座のアルタイル）が、結婚後働かなくなってしまったことに怒った天帝が、二人を天の川を隔てて引き離し、年に一度、7月7日だけ会うことを許したという説話があります。

ほとんどの神事は7月7日の早朝に行われますが、一般的には短冊に願い事を書き、竹に飾り付けをします。七夕は中国や韓国にもありますが、短冊などを飾る風習は日本以外では見られません。

富山県では高岡市の戸出七夕まつりが日本最大規模の竹飾りで全国に知られています。

中央植物園では熱帯雨林植物室で育てているタケの仲間では世界最大になるといわれているキョ



中央植物園熱帯雨林植物室のキョチク

キョチクは世界で最も太くなるタケの仲間、太さが30cmを超えることもある。

チク (*Dendrocalamus giganteus* Munro) を使って、子どもたちに七夕飾りをつけてもらい、サンライトホールに展示します。

さて、今年の七夕は晴れるでしょうか。

## 夏休み特別企画 7月20日(金)～8月29日(水)

### 親子体験コーナー開設

7月20日～8月29日の夏休み期間中、中央植物園サンライトホール内に植物を使った工作や顕微鏡を使った植物観察などを体験することができるコーナーを設置します。

夏休みには親子で植物園へ出かけ、いろいろなことを体験していただきます。

夏休みの宿題の参考になるかも！



## 「ハイビスカスとフヨウの仲間」

8月31日(金)～9月19日(水)

鮮やかな赤や黄色の大輪の花が咲くハイビスカスは私たちに南国をイメージさせる代表的な植物です。

ハイビスカスの仲間は野生種だけでも250種ほどあり、観賞用以外に食用や繊維が利用される種類もあります。最近ではすっかり有名になったケナフもこの仲間です。また、オーストラリアには動物の餌になり、絶滅危惧種になっているハイビスカスの仲間もあります。

また、高橋治の八尾のおわらまつりを題材にした小説「風の盆恋歌」に登場し、石川さゆりの「風の盆恋歌」でも歌われたスイフヨウ（酔芙蓉）もハイビスカスの仲間で、咲き始めは白く、徐々にピンク色になっていく様子からこの名前がつけられました。



左上：ハイビスカスの園芸品種、右上：ハイビスカスの園芸品種  
左下：ヒビスクス・ワイメアエ、右下：スイフヨウ

## 「フラワーデザイン展 富山2007」

9月22日(土)～9月24日(月・祝)

日本フラワーデザイナー協会富山県支部が設立30周年を迎え、中央植物園と共催で「フラワーデザイン展 富山2007」を開催します。

アレンジメント、ブーケ、シュトラウス、フローラル・アクセサリーなど約100点が出展され、コンテストを行います。県内のフラワーデザイナーの技を見にお出かけください。



### 関連行事

#### フラワーアレンジ教室

日時：9月23日(日) 13:30～14:30  
9月24日(月・祝) 10:00～11:00

場所：中央植物園 ドリアスホール

費用：入園料600円のほか、材料代1000円程度が必要です。

申込：前日までに電話で申し込みください。

## 活動報告 (4~6月)

### 「日本の桜『ソメイヨシノ』」 4月1日(日)~4月25日(水)



ソメイヨシノは日本では最も馴染みがある桜ですが、その知られざる一面を写真などで紹介しました。

### 植樹「里帰りした日本の桜 ソメイヨシノ」 4月1日(日)



1912年にアメリカに渡り、ワシントンのポトマック河畔から、その橋渡しをしたシドモア女史が眠る横浜へ里帰りしたソメイヨシノから増殖した苗を植樹しました。

### 県民植物学講座! 「富山県の桜」 4月15日(日)



大原隆明主任が「富山県の桜」について講演しました。最近の桜ブームを反映し、多くの参加者がありました。

### ソメイヨシノと夜桜観賞 4月4日(水)~7日(土)



6日(金)は晴天にも恵まれ、開園以来最高の14000人を超える入園者で賑いました。

### ハンギングバスケット講習会 4月21日(土)



作品を園内に飾り、コンテストを開催しました。

### 第28回春のラン展 5月3日(木)~5日(土)



今年から名称を「春のラン展」に改めて開催しました。色とりどりのエビネをはじめ、280株のランが出品されました。

### デジカメ講座 5月20日(日)



県ITセンターとの共催で、デジカメの撮影方法から編集、プリントまでを学びました。

### 二口善雄画伯「原色図譜園芸植物」原画展 5月11日(金)~30日(水)



日本を代表する植物画家である二口善雄画伯の原画はたいへん貴重な資料で、非常に細密に描かれたサボテンの棘に、入園者は驚きの声を上げていました。

# 植物園 トピックス

## ■ブラジルから研修員が来ました。



ブラジルから日系3世の嶋田雅信さんがJICAのプログラムで5月から7月末までの約3ヶ月間、竹の勉強をするために来園しました。

現在、嶋田さんはブラジルでリンゴと乳牛の農場を営んでいるようですが、中央植物園で内村園長から竹に関する指導を受け、帰国後は竹

のコンサルタントをはじめたいそうです。

完璧な日本語をお話になるので、職員一同驚きました。

## ■県民会館で「植物を描く三人展」が開催されました。

5月18日(金)から5月20日(日)まで県民会館ギャラリーにおいて、植物画講習会講師の豊田路子さん、友の会植物画部会で活躍の山崎信雄さん、平一敏さんによる「植物を描く三人



展」(中央植物園後援)が開催され、3日間で約700名の来場者がありました。

## ■鶴坂小学校の総合学習が行われました。

6月上旬に地元の鶴坂小学校5年生の総合学習が中央植物園を利用して行われました。みんなでチューリップの球根の掘り取りやフローラルステージへの花苗の植え付けを行いました。



## 研究紹介 ◎『富山県特産のサクラの新園芸品種“コシノフユザクラ”』

大原 隆明

サクラは春に咲くもの、と思いがちですが、300以上もあるといわれる園芸品種の中には晩秋から春に至る半年間もの間、花が咲き続ける品種があります。全国にはジュウガツザクラやフユザクラなど、このような性質を持つサクラが8品種ほど知られていますが、昨年早春に「とやまさくら守の会」の武田宏さんと八木秀治さんがそれぞれ上市町と黒部市から当園に持ち込んだ冬咲き性のサクラは、このいずれとも異なる印象を受けるものでした。

そのため、昨年春から夏にかけて、私と武田さん、八木さんの3人でこのサクラの正体を明らかにするために花や葉の調査を行った結果、このサクラはこれまでにまったく知られていなかった新品種であることや、富山県東部でのみ栽培されていることが明らかになり、今年3月に富山県の旧名である越中国にちなんで「コシノフユザクラ(越の冬桜)」と命名して発表を行いました。

上市町には樹齢100年以上に達するらしい個体があることから、コシノフユザクラはかなり古くから県内で栽培されていたものと考えられますが、これまで類似の品種である'フユザクラ'と混同されていたために新品種であることが気付かれなかったようです。コシノフユザクラは非常に花弁が散りにくいという



特徴があります。一般的にサクラの花弁は散り際に紅色を増しますが、わずかに色づいたところに散ってしまうのが普通です。しかし、コシノフユザクラの花弁は散りにくいので、満開に達する前の白い花と、咲いてから時間を経てピンク色の花とが1枝の中に同時に見られ、観賞価値をより高めています。

今後はコシノフユザクラの効率的な増殖方法を調査し、いずれは富山県をアピールするサクラとして全国に普及したいと考えています。冬から早春に花が咲いている「散らないサクラ」という特徴は、受験シーズンにもってこいかもしれません。

## 催し物のご案内

### ■サンライトホール展示

キョチクの七夕飾り

7月6日(金)～7月11日(水)

9:00～17:00

子どもたちが七夕飾りをつけた世界最大級の竹「キョチク」をサンライトホールに展示します

入園料が必要です

夏休み特別企画

親子体験コーナー

7月20日(金)～8月29日(水)

9:00～17:00

親子で自由に観察体験・工作体験をすることができます

入園料が必要です

ハイビスカスとフヨウの仲間

8月31日(金)～9月19日(水)

9:00～17:00

ハイビスカスの野生種・園芸品種をはじめアオイ科植物を展示します

入園料が必要です

フラワーデザイン展富山2007

9月22日(金)～9月24日(日)

9:00～17:00

日本フラワーデザイナー協会富山県支部との共催で行います

入園料が必要です

「茶と珈琲の植物物語」

9月28日(金)～11月7日(水)

9:00～17:00

植物としてのチャとコーヒーや飲み物としての文化について紹介します

入園料が必要です

### ■観察会・講座・講習会

★県民植物学講座②「富山県の植生」

○要申込

7月1日(日) 13:30～15:30

場所/研修室

講師/山下寿之(中央植物園副主幹研究員)

定員/30名

参加費/無料

親子デジカメ講座「花を撮ろう」

◆要申込(富山県ITセンター)

076-444-7887へお申込ください

7月29日(日) 9:50～15:30

場所/研修室、園内、富山県ITセンター

定員/16組

参加費/無料

富山県ITセンター情報工房との共催行事で、午前中は植物園で花を撮影し、

午後はITセンターでオリジナル植物図鑑を作ります

★県民植物学講座 「立山の植物とライチョウ」

○要申込

8月19日(日) 13:30～15:30

場所/研修室

講師/吉田めぐみ(中央植物園主任)

定員/30名

参加費/無料

★フラワーアレンジ教室

○要申込

①9月23日(日)

13:30～14:30

場所/ドリアスホール

定員/30名

参加費/入園料の他に1000円程度

の花材代

②9月24日(月・祝)

10:00～11:00

場所/ドリアスホール

定員/30名

参加費/入園料の他に1000円程度

の花材代

顕微鏡・電子顕微鏡講習会

◆要申込

8月25日(土) 13:30～15:30

場所/実習室

定員/10名

参加費/実費

第29回 植物画講習会

◆要申込

9月29日(土)・30日(日)

10:00～16:00

場所/研修室

講師/豊田路子・岡田宗男(植物画家)

定員/50名

参加費/花代500円

★紅茶・中国茶の楽しみ方

◆要申込

10月1日(月) 13:30～15:30

場所/実習室

定員/24名

参加費/実費

★第15回TOYAMA植物フォーラム

「お茶とコーヒーのある暮らし(仮題)」

10月7日(日) 13:00～16:00

場所/研修室

講師/劉園英(北陸大学薬学部准教授)・

荻田信二郎(富山県立大学講師)

定員/70名

参加費/無料

体験バタバタ茶

◆要申込

10月14日(日) 13:30～15:30

場所/実習室

定員/24名

参加費/実費

### ■夜間開園

「夜の温室植物」

8月14日(火)・15(水)

19:00～21:30 入園は21:00まで

場所/サンライトホール・展示温室

入園料/300円(高校生以下無料)

「サマーナイトフェスタ」

8月25日(土)・26(日)

19:00～21:30 入園は21:00まで

場所/サンライトホール・展示温室

ミニコンサートも行います

入園料/300円(高校生以下無料)

### ■月例行事

日曜植物案内

7月1日(日)・7月8日(日)・8月5日(日)・

8月12日(日)・9月2日(日)・9月9日(日)・

10月7日(日)・10月14日(日)

13:30～14:30

今年から時間が午後になります

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

ガイドボランティアや職員が見頃の

植物や話題の植物を解説します

植物園オリエンテーリング

7月15日(日)・8月19日(日)・9月16

日(日)・10月21日(日)

10:00～11:00 受付

植物に関する問題を解きながら楽し

く園内をまわる行事です

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

○要申込 事前の申込が必要です。前

日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申

込は1ヶ月前から「往復はがき」で受け

付けています。

★印はボランティア養成講座です

## 友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで

入園できます。/会報や植物園だより

りが送られてきます。/多彩な友の会

の行事に参加できます。/印刷物を割

引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規

に加入される方は初年度会費の割引を

受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時

受け付けています。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)  
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日、年末年始  
(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円  
団体料金(20名以上) 480円  
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファ  
ポーレ経由萩の島循環」に乗車し「中央植物  
園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心  
部より車で約15分/北陸自動車道富山インター  
より車で約15分/JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.44

編集・発行/富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上榎田42 TEL 076-466-4187 <http://www.bgtym.org/>  
印刷/中村印刷工業株式会社